

「輝く雪」のまち

ぬまた町

みんなの議会

2013年11月
第55号



雪中椎茸どうぞ♪

主な
内容

赤字補てんに2億円!! 沼田厚生病院 … 2ページ

教育・子育てに集中 一般質問 … 4～7ページ

小学生が議会を傍聴…11月に子ども議会

医療・福祉 今後の沼田は 調査報告 … 8ページ

平成25年 第3回定例会 9月20日

9月20日、平成25年第3回定例会が開かれました。

◎24年度決算認定

平成24年度の一般会計及び水道事業会計の認定は、議員8名からなる決算審査特別委員会に付託しました。

委員長に中村議員、副委員長に鶴野議員を全員協議会で指名して、10月21日から28日までの日程で審査が行われました。

◎25年度補正予算4億円

平成25年度予算に、4億708万円を追加し、総額52億1800万円としました。

〈主な内容〉

○沼田厚生病院の24年度損失補填
2億386万円

前年より、5300万円多い額ですが、国の特別交付税で9100万円が補填される予定です。

○強い農業づくり事業
5300万円
農機導入として、7経営体に助成。

○農産加工場整備費
1億3000万円
資材及びコストの増加に伴う。

○防災費として500万円、災害対策関連として。

防災費の主な内訳

無線機	10台
町内8か所 発電機	
ドラムコード	
灯光器	
簡易トイレ	
ストープ	
農村部避難所外部電源工事	
衛星携帯電話助成等	

○屋外無線LAN実証試験
に462万円

屋外無線LANを整備、専用タブレットを使用して、各種サービスの可能性をさぐる。

サービスの例
・健康管理サービス
・高齢者の居場所確認
・農業ハウスの温度管理
・広報ぬまた、お知らせ版
・災害時定点カメラ映像
・事件事故現場での活用
・買い物サービス
・イベント等のライブ配信
・予約制バスの予約

◎まちづくり調査特別委員会調査報告
(8ページ別掲)

◎教育委員会委員の任命
任期満了により、筒井由美氏が再任されました。

無線LANとは
無線通信を利用してデータの送受信を行う装置のことをWiFiとも呼ばれている。



第6回 臨時議会

8月30日

専決処分の承認

8月24日、役場庁舎への落雷で電話中継機器が故障、復旧に伴い機器及び電話機が更新されました。

435万円

役場庁舎耐震改修工事請負契約

6400万円

第5回 臨時議会

7月30日

沼田町農産加工場

新工場建設請負契約

4億800万円



あの一般質問は、どうなったのか？

シリーズ追跡④

2012年9月 第3回定例会 上野敏夫議員の一般質問

問 農業総合センターを新築しては？

答 必要なので、関係者と協議する



- ・役場も農業総合センターの必要性を、他の市町村にある類似の施設で調査している。
- ・今年の春にJA北いぶきの役員が改選され、沼田地区の新役員と懇談を行った。
- ・JAの検討と、役場の「農村型コンパクト・タウン整備基本構想」を含め、検討中である。



役場とJAは、生産者に何をもちたらすのか？

上野議員のコメント

農業は、沼田町の基幹産業である。全町で一丸となって農業に取り組んでいる姿を、内外により明確にすべきだ。生産者の立場も考慮すべきだ。検討が長すぎる。早急に実施すべきである。

シリーズ追跡⑤

2011年6月 第2回定例会 渡辺敏昭議員の一般質問

問 防災対策の見直しが必要ではないか？

答 ハザードマップや防災計画の見直しを検討



- ・2012年度に、「地域防災計画」を見直した。
- ・現在、「防災ハザードマップ（防災のしおり）」を作成中。完成しだい、町内の全世帯に配布する。これが災害などの緊急事態に町民がいち早く対応できる行動マニュアルとなる。
- ・防災無線の更新工事を、農村の世帯で実施中。
- ・役場庁舎の耐震化工事に着手した。ここは災害時の拠点本部となるので重要である。
- ・本年度中に農村地区の全ての避難所に発電機・投光器・ストーブなどを配置する。現在のままでは停電に対応できないため。
- ・広域な観点から、北空知1市4町で災害時の相互応援体制の協議を重ねている。民間企業を含めた体制の確立を進めたい。

渡辺議員のコメント

防災には、「国や地方自治体がやるべき防災」と、「住民が日常から心がける防災」がある。役場などが実施する、せっきくの防災計画が絵に描いたモチにならぬよう、町民も日ごろから防災に備えよう。

町行政の現在までの対応

各議員の一般質問にどのように対処したかをシリーズで追跡します。

否決

議論された『意見書』

可決

『特定秘密保護法案』の反対と国会への提出の中止を求める

1. 「秘密」の定義と判断者が、あいまい
対象分野があいまいかつ広範囲。役所に不都合だという理由だけで、本来、国民が知るべき情報が隠される恐れがある。
むしろ国と国民は、相互に信頼し合う関係を目指すべきである。
2. 「適正評価制度」は、公務員の個人情報の流出と職場の硬直化を招く
公務員の家族や交友関係などの個人情報にも調査が広がる習性を考慮すべき。
3. 情報公開と国民主権に逆行する
議会、学問、ジャーナリズムに反する。
4. すでに秘密漏えいの罰則規定は完備
「国家・地方公務員法」や「自衛隊法」。

紹介議員 久保元宏
公務員に健康な職場の環境をあたえ、その信頼し合い、国民と国が合えるよう賛成する。
して議員が自由に調査をして意見を述べだ。時期尚早。反対する。

賛成



反対



森林吸収源対策及び地球温暖化対策の地方財源を確保せよ

森林の整備は自然災害を守り、二酸化炭素の吸収源として最も重要な機能を持つので、市町村の森林面積に応じて「石油石炭税の税率の特例」を求める。

希望する教職員全員の再任用と必要な交付税の追加措置を求める

道教委が対策を講じなければ、「3月解雇」や新採用の大幅抑制、期限付き教員の「雇い止め」も起きかねず、若い教職員の雇用にも大きく影響する。

『教育費無償化』の前進を求める

1. 国は、「高校無償化」の維持・拡充をすすめよ。
2. 国は、高校生・大学生に対する「給付制奨学金」制度を作れ。

道州制の導入に反対する

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源、国土保全、伝統・文化を守ってきた。郷土意識を無視する道州制は、地方自治ではない。

問 子ども議会でも望むひとつと期待することは、
答 今後の沼田を担う皆さんの考えを聞きたい

高田 勲 議員

問 本日は小学生が議会の見学、傍聴に見えております。

本年11月に我が町では、初めての試みである「子ども議会」が開催されます。

議長、町長、教育委員長、教育長それぞれの子ども議会に寄せる思いを聞きたい。



沼田の 将来を担

うのは子ども皆さんの見目は現実に向かいますが、皆さんは将来を見る目がたくさんあります。堂々と子ども議会で発言して頂きたい。



今後の 沼田町を

担う皆さんが何を考えているのか、



高田議員と、熱心に傍聴する子どもたち

日暮 教育委員長

子どもたちが学校という学習の場から離れ、地域に

4年生の目線で普段思っていること、将来こんなことに成りたいなど、そんな夢も話して欲しいですし、出来れば21人全員から質問があればいいと思っています。

生活 教育長

暮らす一員として身近な問題に目を向け、質問をして、議会という民主的な場を通して解決していく、この事を勉強して頂きたい。子どもとも言えども地域の住民である事を自覚する機会になると思います。又、学級会、児童会活動が活発になり、素晴らしい沼田小学校づくりに役立つよう期待しております。

11月の子ども議会に向けて、疑問点をクラスに持ち寄り、相談し、質問や意見としてまとめる、そうした過程を通して好奇心、もつと物を知ろうとする意欲や、自立心、向上心を養って頂けると思います。これから子どもたちが成長していく上で有益な取り組みだと思っています。

問 道路の維持管理の速やかな対応を
答 町道は補修で対応している



長原 誠 議員

問 道路維持の中で、国道、道道の草刈の時期が遅く、歩行者の通行に支障をきたしている。交通安全の確保の為に早い対応をすべきと思う。

また、北竜3の工業団地に面した道道の歩道の傷みがひどく、企業誘致の観点

し、道路整備のスピードを速めるべきと考えるが町長の考えを聞きたい。



国道・道道の整備予算は、前政権の事業仕分の中で3年前から削減されていたが、除雪も含め、交通障害、事故により、国も重点的に予算を配分する方向になってきています。夏場の道路の草刈についても、町村会などの大きなレベルで要望していきたい。

町道の整備は、年次計画は持っていません。毎年、900万円から、1000万円の道路補修に係る予算を持っていきますので、その中で対応したい。

からも、道に要請し整備改修すべきと考えます。町道においては、予算の中で、順次整備し、市街地、幹線道路は工事が完了しているが、郊外の支線道路、沢地帯の道路は、部分補修で対応しているのが現状であります。今、農業機械も大型化し、移動運搬も大型車での利用が多く道路の傷みが一層ひどくなっています。計画的に予算を確保



雑草が繁茂した歩道

問 授業外における

学習環境をどう考えるか

答 土曜の授業の再開は簡単にいかない



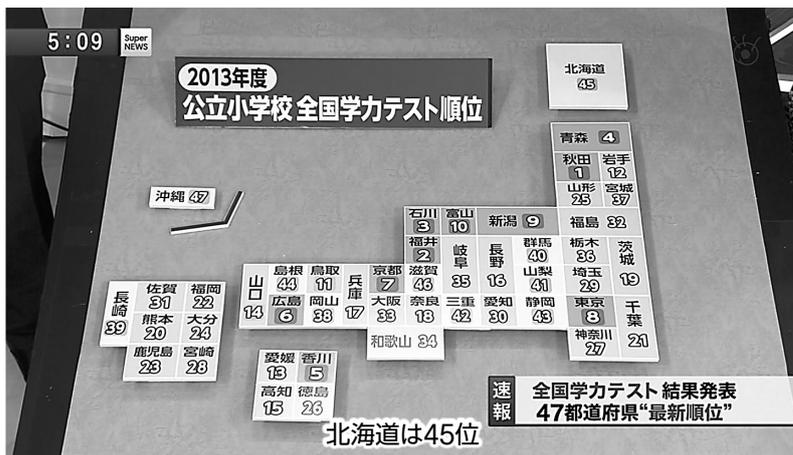
之野 範 鶴
議員

問 今年度の全国学力テストの結果、沼田町の状況をどう分析したのか。学力を上げるには土曜の授業の実施も一つの方法です。

来年度は2割の公立学校で実施しますし、子どもたちに土曜日を有意義に活用できる環境も必要と考えるが、どう考えるか。
学校外の学習環境の一つに塾がありますが、その状況はどうか。
また、それを誘致、起業化させることができるか。

生涯 教育長

学力テストの結果は、そうそう樂觀できるものではない。もう少し頑張っていた



もありません。今後、様子を見ながら考えて行きたい。学習塾は、町内に英語の塾が2件、深川市に6件あります。塾に通う小学生は136人中33人が通い、内5人が町外です。中学生は68人中38人が通い、内3人が町外です。我々としては塾を誘致することではなく、子ども達の指導の充実を図るために努力をして行きたいと思う。

だきたい。学校以外の学習時間が全国、全道と比べて短い状況です。これを何とか改善するように家庭に働きかけたいと思っています。土曜日授業については早々簡単にはいかない事情



国際交流ポートハーディにて

問 ここ数年、教育委員会の次長が短期間で変わり、学校との連携が上手く取れていないのではない



上野 敏 夫
議員

か。子どもたちがどこかに行きたい、やりたいという希望があれば予算を組んでほしい。

「沼田町総合教育計画」の中で、特に特徴があり、力の入れるポイントは何か。
きめ細やかな指導を行うために先生の増員ができないか。

問 子どもたちが将来の夢に向える

子育て支援を

答 今後いろいろな機会を提供したい



職員は引き継ぎ

をきちんと行い、職務をやっておりますので、短いからといって、職がでないとは思っていません。何か夢のある話が出た時には、教育委員会を通じて、私も検討します。

生涯 教育長

ポイントは今、一生懸命に取り組んでいる一貫連携教育を、定着させることにより、子どもたちの力、あるいは先生方の指導力も高まっていくと考えます。
数年前より、小学校に補助員1人、特別支援員3人、道教委からも2人加配しています。
中学校においても1人の加配がされていますので、指導に障害が出ることはありません。
教育の質を高めることが重要と考えています。

問 雪対策は町民にとって死活問題だ

答 雪の克服は町の最重要課題と認識している



渡辺 敏昭
議員

問 豪雪に慣れているはずの私たちにとつても、2年続きの大雪には驚きました。

昨年のような大雪や猛吹雪に対応する危機対策基本計画は準備されているか。除雪予算が昨年最終予算の約半分ですが、足りるのか。

昨年は旧沼中グラウンドが雪捨て場として利用されましたが、近いということ为好評のようです。今年はどうするのか。また、その雪山を「雪夏祭」で利用できないか。

はどうなっているか。



ここ数年大雪や猛吹雪が頻発した

ことから、昨年「沼田町雪害予防対策指針」を作り、対処しています。

除雪予算は一定の基準に基づいて予算を編成していますが、必要が生じたときには補正予算を編成していきます。

雪捨て場については、騒音や融雪などの問題があり、ますので地元町内会とも相談が必要です。なお、現在旧キョウコン跡地の使用を交渉しています。また、「雪夏祭」での雪山の使用はまだ白紙の状態です。

ロータリー除雪車は中型が27年、大型が30年に更新する計画になっています。また、予備機として昨年までほたる館で使用していたものを修理して使う予定です。



除雪風景

問 子育て満足度はあがっているか

答 特段なアクションは起こしていない



中村 保夫
議員

問 25年度の重点政策事業4本柱のひとつとして「子育て満足度日本一戦略」が高らかにうたい上げられました。

期待をし、注視しているところですが、いまだその具体的アクションが見えませんが、町長の行政報告にも記述されていません。

新規事業の「子育てカフェ」などではどのような進捗状況か。その反響はどうか。子育て満足度はあがっているか。

日本一を標榜するからには少なくとも近隣町村よりは秀でている必要があるが、現状では追いつき追い越されていると感じています。



これらの戦略は今年度がスタートの年です。

保育園と幼稚園を統合した認定こども園を出来れば27年度の設置を目標にニーズの調査に入ったところで、す。

ですから今年これだけアクションを起こしたとか、そういうものは特にございません。

吉田 保健福祉課長

「子育てカフェ」についてはいろんな団体に主体的にやっていただくことを考えています。

現在、個別にお話をさせてもらっています。これからの話になります。が、年度内には実施したいと思っています。



子育てでは楽しくもあり、たいへんでもある

問 利子補給は、ばら撒きか

答 より実効性のある支援を考えたい



高田 勲
議員

問 沼田町の商工業者は人口の減少が続く中、苦しいながらも懸命に商売を続けています。

今年3月の予算委員会で町長は「今後ばら撒き政策ではなくて、実効性のある事業を模索していく」あるいは「商工会と打ち合わせをしていく」という風に答弁されています。

国・道の融資に対する町の利子補給は「ばら撒き政策」と考えているのか。

また、商工会とはどのような話し合いをしてどのような実効性のある事業を展開するのか。

結局、今年の緊急利子補給はやるのかやらないのか。商工業者に対する支援を後退させるのか。



町として昨年度で480万円と270万円の2つの緊急利子補給をしました。

個々の実例を見ますと10万円未満の助成が前者で68%、後者で60%です。実際には1万円未満の業者さんも多数おられて、これで本当に支援になっていくのか疑問を感じております。

25年度では年末に向かって今までのような形がいいのか違う形がいいのかも含めて、そのやり方については検討する余地があると思っております。

いずれにしても、利子補給も含めて商工会と協議し、なんらかの形で支援はやりたいと思っております。



副町長 図表を使って説明する金平町長

傍聴席の生の声

今日はみんなのしょう来やゆめとかじゅくなどの議会しつ問のしかたとかが勉強になりました。
(10才・男性)

傍聴席の生の声

むずかしいことばかりしゃべってあまりわからなかったけど、11月に四年生がやる番になるのでよくきながらメモをとってむずかしいこともあっておもしろかったです。
(10才・女性)

今回の定例議会の傍聴者は、29名でした。

11月14日(休)に「子ども議会」を開催します。小学4年生が議員席に座り、自分の言葉で町長に質問をします。みなさまの傍聴を待っています。お気軽に、ご来場下さい。

まちづくり調査特別委員会 調査報告

今後のまちづくり

委員長 津川 均
副委員長 渡辺敏昭

全議員が参加し、昨年の3月から今年の8月まで会議を11回、町外への視察を2回行い、厚生病院の改築問題を中心に、人口の減少や少子高齢化に即した今後の沼田町のまちづくりを調査し検討した。

調査した農産加工場は新築が決まった

1 地域の医療と福祉

- ① 医療施設は診療所であっても、その診療体制によっては多額な費用と維持費が掛かる。新しい医療施設及び福祉施設の建設にあたっては、財政・医療・福祉・建設等、総合的な立場から専属プロジェクトチームを早急に立ち上げ、長期的施策の立案と実行を望む。



弟子屈町・摩周厚生病院の温水プール。

水中体操やリハビリに活用し、町民の健康に役立っています



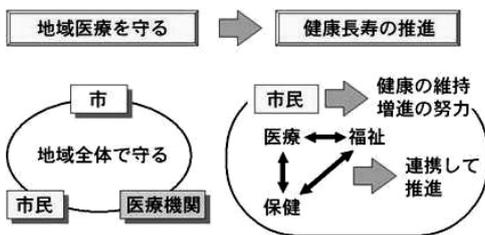
湧別町は、厚生病院から診療所が変わった

- ② 医療福祉問題は高齢者世代が中心になりがちだが、若者や子育て世代がその問題に参加・共有することで、福祉の進んだ「まちづくり」が出来るようになる。今後も、若年層健診や各種健診率の向上、健康運動等の一層の推進を望む。

- ③ 行政は命を守る視点から、住民に不安を抱かせない救急体制の充実を図り、たとえ看取りの場所が在宅やショート・ステイ等の福祉施設になっても、いたわりと尊厳のある対応がなされるべきである。
また、無床診療所に併設を予定している小規模多機能型居宅介護施設や高齢者住宅についても、町民が安心して利用される施設となるよう努力いただきたい。

全国各地で、住民が病院を守る条例が作られている

延岡市の地域医療を守る条例の概要図



- ④ 少子高齢化や過疎化における医療の問題は、行政や民間、医療機関は勿論のこと、子供から高齢者まで全ての町民が、健康長寿のために地域医療を支えていくという意識づくりが重要と考える。
たとえば、病院を含める関係機関との連携をより強くするために、地域医療を守る条例化を進めるなど、町民、医療機関、町が、それぞれの立場で地域医療を理解し、互いに支援しながら、一歩先行く自治体を目指す事を望む。



羅臼町は、民間の「孝仁会」を診療所の指定管理者にした

沼田町には耐震化されていない古い施設が、多くある

2 老朽化した公共施設

使用されていない施設は、効率的な解体計画を立てて、それに基づく解体のための基金の創設をするなど、スムーズな解体が必要だ。
施設集中型の「コンパクトタウン」を進め古い建物の流用は、まちづくりの足かせになりかねない。建物の解体は、早めの思い切った対応が必要。

3 ほたる館と沼田開発公社の今後

民間指定管理者による一層の集客と、運営状況を常に把握し、良好な経営が継続されることを願う。



東京

国会へ要望

8月7日、 渡辺、 久保の両議員が北空知の議員団として東京へ行き、主に下記の3つを要望し、意見交換を行ってきました。

農業予算の確保



長島忠美・農林水産大臣政務官、渡辺孝一議員と農業問題を語る

かまだ分らない。また消費税は福祉への目的税なので、他に使えるように、どうソフト・ラウンディング（穏やかな移行）するかが重要。



徳永正一議員に「要望書」を渡す北空知の議員団

 **橋本聖子議員** 税収を見込んで予算を組むので、年末にどうなるのか。どう農業予算に取り組むのか。

渡辺孝一議員 政府の農業政策の①農地集積、②輸出は北海道には馴染まないが全道民でトライしていこう。
長島忠美政務官 戸別所得補償制度などではできるだけ法案化することで、恒久的な制度にしたい。さらに農水省には農家が2%実質成長する予算の組み方を指示している。

 **久保** 農地の整備を
通年施工にして欲しい。

TPPの国益維持



小川勝也議員の議員室

交渉の情報開示ができるようになつたら、する。それが国民に知らされないままに賛成も反対もしない。
小川勝也議員 日本は交渉の場で意見を保留にしてはダメだ。むしろ提案をすべきだ。



参議院選挙で当選直後の伊達忠一議員

長島忠美政務官 TPP無い。

伊達忠一議員 自民党はTPPの公約を守らなかつたら、野党に下野すべきだ。
TPP交渉の内容容は秘密だが、日程は秘密では無い。今後、どのようなスケジュールで展開し、それに対して地域は何をどう準備すべきか、もっと明確に指導してほしい。
農林水産省 アメリカのオバマ大統領は「年内に決着」と公言したが、おそらく無理だろう。当面は来春の決着を前提に来年度の予算に反映させた。いずれにせよ時間は無い。

伊達忠一議員 TPP交渉の内容容は秘密だが、日程は秘密では無い。今後、どのようなスケジュールで展開し、それに対して地域は何をどう準備すべきか、もっと明確に指導してほしい。

医師の確保



原局長は、医師行政のトップ

では、医者が都会と田舎を交互に受け持つ「ローテーション方式」を是非進めていただきたい。
原局長 しかし「職業の自由」の原則があるので強制はできない。法の限界だ。道内の病院と連携する工夫が必要だ。



橋本聖子議員は、オリンピックの話題も

橋本聖子議員 私は出産を三回しているし、家族に医者も多い。地域医療は、守るべき。

厚生労働省・医政局・原徳壽局長 「地域医療支援センター」でドクター・バンク事業を進めたい。現在、在学中の医大生が卒業後は、「地域」枠と「研究」枠の組み合わせをするので、もう少し待っていただきたい。
橋本聖子議員 私は出産を三回しているし、家族に医者も多い。地域医療は、守るべき。

橋本聖子議員 私は出産を三回しているし、家族に医者も多い。地域医療は、守るべき。

滝上町議会広報委員会が来訪

8月19日滝上町議会広報委員会の皆さんが来訪し、沼田町議会広報について研修されました。

沼田町議会広報「みんなの議会」が議員だけの手によって作られていることに関心が寄せられました。

長原副委員長が作成手順の説明を行い、その後「読んでもらえる広報誌づくり」について話し合いました。



滝上議会広報委員のみなさん

全道町村議会広報研修会に参加

らの編集に生かしていきたいと思います。

8月20日全道町村議会広報研修会に広報委員4人全員で勉強してきました。長い間議会広報に携わってきた深沢徹氏の講演を聞くとともに、沼田町議会広報誌「みんなの議会」のクニツクを受けました。

数字の表記の仕方や目次の在り方、タイトルのつけ方など鋭い指摘を受け、自信满满であった私たちの鼻をへし折られました。学んできたことを今号か



きびしい指摘を受けました

の表記を変えました。気づきましたか？

あとがき

昨年冬の冬も大雪だった。毎日毎日の大雪に、大抵のことには泣き言を言わないようにしている小生でも、愚痴の数が増えた。雪解けも遅く、農業を営んでいる私は今年の稲作の不作を覚悟した。

6月になり、猛暑が訪れた。毎日毎日の猛暑に、大抵のことには泣き言を言わないようにしている小生でも、愚痴の数が増えた。

8月の中旬から雨が降った。毎日毎日の雨に、大抵のことには泣き言を言わないようにしている小生でも、愚痴の数が増えた。田んぼが乾かない。どうしよう。

9月の中旬から稲刈りを始めた。手応えがある。3年続きの豊作だ。大抵のことには喜びを表面に出さないようにしている小生でも、喜びを隠せない。

「人間万事塞翁が馬」という格言を思い出した。

広報特別委員

中村保夫 長原 誠
鶴野範之 久保元宏

みんなの広場

「センチメンタル・ジャーニー」



岡本 ひとし 斉

沼田弾薬支処長兼ねて沼田分屯地司令 二等陸佐

沼田に赴任し一年半になる。周辺の田園風景を眺めながら車の運転をするのも生活の一部になってきたところである。

最近ふと思立ち30年振りに故郷に足を運んでみた。昔は立派だった炭鉱の立坑が塗料のはげた鉄骨の残骸をさらし、国道38号線沿いのかつて自分が暮らしていた場所にはコンビニが建ち、市民球場は消え、鉄道の周囲は草で覆われていた。記憶にある生活の痕跡はどこにもなかった。

本当に自分はここにいたのだろうか、過去と現在の情景が交錯する中、言い知れぬ虚しさに襲われた。産業が衰退するという事は町が死ぬことなのだと思う。石炭産業は戦後復興の旗手としてその役割を果たし、役割を終るとともに町から人も消えた。中学生になった頃に父親が言ったことを憶えている。「ヤマはもうだめだ。大学へ行け。」自分が故郷を出る決心をしたのはこの言葉がきっかけだ。それから高校を卒業して以降、故郷を訪れることは一度もなかった。

沼田町にもかつて炭鉱があったと聞いている。閉山に伴って町を出た人も数多くいたのだろうと思う。だが沼田町には農業がある。農は現在苛烈な国際競争の荒波にのまれようとしている。TPPの衝撃から町は生き残ることができるのか？ TPP反対の看板を目にする度に廃墟となった立坑が目につく。故郷を失った者は生涯流浪の旅を続けるしかない。

生き残れ、沼田町。子どもたちの故郷を守れ。何故かそう思わずにはいられない。